

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第90回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第35回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第91回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

◇日本惑星科学会第90回運営委員会議事録

日 時：5月23日(月)18：45－20：45

場 所：日本地球惑星科学連合2011年大会会場203号室

(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1幕張メッセ国際会議場)

運営委員会委員：

(出席者)20名

渡邊誠一郎，井田茂，田近英一，倉本圭，荒川政彦，林祥介，中村昭子，中本泰史，中村良介，並木則行，三河内岳，小久保英一郎，平田成，千秋博紀，荒井朋子，城野信一，高橋幸弘，小林直樹，佐々木晶，はしもとじょーじ

(欠席者)3名(委任状あり) 永原裕子，渡部潤一，橘省吾

オブザーバー：

三浦均，佐々木貴教(連合大会プログラム委員)，田中智(ISAS/JAXALOC)，松田佳久(学会賞選考委員長)

議 題：

1. 会計第10期下期決算

中本財務専門委員長よりほぼ予算どおりの報告があった。監査の結果，問題ない。

・一般会計

収入は，会費納入が主で，匿名寄付10万円をいただいた。合計は663万円程。繰越金を足して1400万円。支出は，学会誌出版・広報，講演会関係，管理関係の3つ。学会誌出版事業で，予算どおりの325万円位。講演会101万円。例年より多いのが，サーバーシステム更新にかかった費用で，210万円。単年度支出は844万円で単年度としては赤字180万位。570万円くらいを繰越。

・学会賞特別会計

一般会計より20万円移管し，支出。会計第10期下期決算は了承された。

2. 会計第11期上期予算執行状況報告

荒井財務専門委員長より第11期上期予算執行状況について報告がなされた。個人の方より5万円の寄付をいただいた。イーサイドにサーバ基礎開発費35万円の支出の追加をお願いしたい。会計第11期上期予算執行状況報告は了承された。

3. 第10期下期活動報告ならびに第11期活動計画

平田総務専門委員長より活動報告書と計画書について説明がなされ，了承された。

4. 2010年度最優秀研究者賞について

松田2010年度最優秀発表賞選考委員長より2010年最優秀研究者賞について小林浩会員、諸田智勝会員を受賞者として推薦することが報告された。審査過程と推薦理由の概要が説明された。最優秀研究者賞の受賞者は異議なく承認された。

5. 学会賞選考委員の入れ替え

平田総務専門委員長より学会賞選考委員の入れ替わりについて説明がなされた。毎年半数入れ替えて、2010年度委員のうち継続が佐々木晶委員、宮本英昭委員、生駒大洋委員、長沢真樹子委員。2011年度委員として、野口高明会員、岡田達明会員、関根康人会員、小林直樹会員が推薦され、異議なく承認された。

6. 財務専門委員の追加

荒井財務専門委員長より大野宗祐会員を財務専門委員に追加することが提案され、承認された。

7. 寄付金の使用用途について

荒井財務専門委員長より、昨年度と合わせて15万円となった寄付金を、若手の研究活動の支援にあてたいと説明がなされ、議論が行われた。学会賞特別会計に充当するのはどうかと意見が出たが、単年度分であるため学会賞とは切り分け、研究会支援に使うことを基本にすることとなった。昨年度使えなかったのは周知が遅かったためであり、財務で早めに考えて最終案を出すこととなった。

8. 学会賞賞金について

中本財務専門委員より、学会賞賞金減額について提案がなされた。毎年20万円支出している。もともとの寄付金がなくなったときは、会費値上げの時期と重なり続けられたが、厳しくなっている。金額を下げる、審査を厳しくし該当者なしの年を入れる、資金があるときのみ賞金を出す、寄付をお願いする、等の意見が出た。今後、賞は継続するが賞金は無しとする方向で検討していく。今年度は賞金を継続するが、それ以降については秋の学会で決定することとなった。

9. 2011年秋季講演会・学会賞実施案等

田中2011年秋季講演会LOC総務より、進捗状況と各種日程、会場、今後の予定について説明がなされた。会場は伝統ある相模女子大学。一般向け講演会を前日に22日(土)1:30-4:00位に行なう。場所は相模原市立博物館。講演者2名は相模原市の方を交えて決め、これから依頼する。秋季講演会予算については、会議室等の値段が不確定なので調整中だが、ほぼ予算内で収まるだろう。秋季講演会会場にLANはない。飲食禁止で現状復帰義務がある。各種日程、料金等の詳細は6月号の遊星人に載せる。可能性は低い。計画停電があった場合は、時間をずらす等の対応が必要である。入構時には警備がついているので、初回入構時などの手順は要調整。

10. 2012年秋季講演会について

中村行事部会部長より神戸大学で開催するとの報告があった。天文学会が9月19日から21日である。惑星科学会は10月上旬か10月最終週かで検討中。会場は、ポートアイランドのCPS隣にできる会議場の予定であり、実行委員長中川、総務大槻、総務補佐保井による体制で行う。

また、2013年秋季講演会は国立天文台がLOCとなって開催する。渡部、小久保、伊藤などによる体制で行なう。候補地として石垣島を検討しているが、旅費が高額となることと台風が心配。LOCには候補地二つくらいをあげ、利点等を比べてもらいたい。

11. 連合大会プログラム委員からの報告

三浦連合大会プログラム委員より、来年度のプログラム委員に佐々木貴教会員(主)と玄田英典会員(副)が推薦され、異議なく承認された。

連合大会惑星セッションのコンピーナ交代の手続きについて、コンピーナーが直接運営委員会に連絡する方式に変更するのはどうかと提案がなされた。現行はプログラム委員がコンピーナーを指名して運営委

員会に報告するシステム。毎年責任を持って忘れないためには、現行のままだが望ましい。プログラム委員の追加の仕事として、惑星セッションコンピーナーにリマインドをして、それからの情報を運営委員会に報告する。

12. 震災関係の対応(会費免除など)

荒井財務専門委員長より2012年度会費免除の影響について説明がなされた。震災に関係する東日本の大学や研究機関に所属する会員数は一般29名、学生2名である。自宅が被災した方などは含んでいない。30万円以上の収入減が出る可能性もある。

13. 震災関係の対応(学生受け入れなど)

平田総務専門委員長より報告がなされた。日本学術会議若手アカデミー活動検討分科会、日本惑星科学連合にまとめがある。フランスNice天文台より日本人研究者受け入れの申し出があった。締め切りは5月31日。日本側の窓口はなく、直接申し込むこと。

14. 震災関係の対応(各地の状況など)

渡邊会長より笠羽会員の資料に基づいて東北大学の震災対応状況について紹介がなされた。緊急連絡網の整備、家具の固定、建物の揺れ方を調べるなど研究室を自衛する方策を普段から準備しておく必要があることが報告された。

佐々木委員より国立天文台水沢の状況の報告がなされた。けが人は無かったが、物の落下が激しく、他の場所とのコネクションが無くなり、アンテナ等に被害が出た。GPSが地震後数時間非常電源で動き、約2.04m動いたことがわかった。地震のあとも徐々な変動が続く、VLBI位置天文観測が不能であった。4月7日の余震の方が短かったが揺れは大きく、水沢周辺は被害が出た。国道の橋が通行止め、ガソリン不足で生活が困難になった。知り合いや親戚に被災者、余震が続いて実験観測再開ができない、原発の恐れ、催事の自粛、毎日の報道、ガソリン不足、交通遮断、三鷹天文台から切り離されているという感覚など、精神的な困難さが大きい。

出村会員より、会津大学の状況について報告がなされた。惑星科学会員8名が所属。会津大学は外国人教員、留学生が多いことが特徴で、対応に迫られた。「安否確認したら、できるだけ早く通常運営に戻り、公立大学として復旧・復興への組織だった貢献を行う」ことを方針として活動。物流、人、通信が滞り、1か月休校。液状化による大学施設の一部損壊はあるが教育活動に支障はない。しかし研究室によっては、設備の一部に被害。建物の中は落下物が激しい。留学生向け特別支援室を設置し、留学生66人中9割復帰。顔の見えるきめ細かい対応が大切で、客観的事実を同じ国の人が説明すると納得する傾向があった。

15. 「宇宙惑星科学の将来を語る会」報告

渡邊会長より熱海で3/29、30に行なわれた第一回会合について報告がなされた。会合にはSGEPSS会員も参加し、震災の影響や惑星探査の現状等について議論が行なわれた。若手育成が進まない、探査の大型化と予算の減少、探査実施体制の不備などの問題がある。「宇宙惑星科学」としてコミュニティを拡大することや新しいタイプの中核研究所が必要である。今後大局的な視野に立ち、分野／世代横断的な議論を継続的に蓄積し、問題に対してサイエンスに根ざした実質的な処方箋を書いていくことを目指したい。

16. 連合の共同宣言について

渡邊会長と田近委員より説明があった。日本学術会議と連合、連合加盟学協会の共同で、今回の震災に對して一致して国民、コミュニティ、政府・関連機関のそれぞれに対し、声明を発するものである。6月中旬の公表を目指して25日の学協会長会議で議論される。惑星科学会からの提案申し入れに関する意見があれば運営委員会メーリングリストに流して欲しい。声明は、伝えるべきメッセージを明確に絞る必要がある。原案は総花的に見える。34学会(44万会員)会長声明は惑星科学会会長にも連絡が無いまま連合会長の判断で発表された。今後は、連合会長声明についても、原案を事前に学協会へ諮るように要望したい。

17. 「月惑星探査来る10年」報告

並木将来惑星探査検討グループ長よりの現状と今後について報告がなされた。

第一段階は各パネル報告が上がり、惑星科学会サーバーに載せた。26日の連合大会セッションで報告し、遊星人に投稿する。

第二段階は、メンバーが確定し、委員長は向井さんで、3回会合を持った。第二段階は、申請の順位付けよりも、申請ごとの可能な再結合や有益なコメントによる申請者グループの育成拡大の視点を重視する。SGEPSSとの連携も進めている。

パネルリーダーをはしもとさんから今村さんに交代すること、第二段階の申請受付を、当初のスケジュールでは今回の連合大会後から秋季講演会後に遅らせることが提案され、了承された。

18. 太陽系探査ロードマップの改訂について

杉田会員より、太陽系探査ロードマップの経緯と改訂について説明がなされ、議論が行なわれた。

2007年作成のロードマップについて杉田会員より—2010年にJSPECから改定の提案があったが、惑星科学会と宇宙理学委員会は賛成しなかった。2011年2月に再びJSPECの宇宙探査委員会で改定の提案があり承認された。2011年6月にロードマップ小委員会立ち上げる見込み—との経緯の説明があった。そして、月惑星探査来る10年委員会の議論を反映する場でもあるので、惑星科学会からも委員を出してはどうかとの提案があった。これに対し、現在は宇宙開発戦略本部などでJAXAの体制の議論がされていて将来が見通せない時期であり、ロードマップの議論ができる状況ではなく、むしろ学会としては「来る10年」の場で議論すべきとの意見が出された。議論の結果、学会に協力を求めるならば、まずは宇宙理学委員会と協議して、太陽系探査ロードマップをどのような体制で作っていくかを合意していただく必要があるとの結論となった。なお、宇宙理学委員会の情報が学会に伝わりにくいとの問題指摘があったため、今後は、今期新たに委員となった渡邊会長が適宜報告することを約束した。

19. 探査関係

小林委員より「探査シンジケート」の立ち上げ提案について説明がなされた。コミュニティの中で探査をやって行くことに対する意識調整がない。日常的に議論が続けられる場を作り、信頼関係を確立していく。

中村良介委員より月惑星探査データの活用について説明がなされた。かぐやのデータは来年の4月からISASに移り科学コミュニティの財産となるので、自分たちが使うという意識を持つ。詳細はメールにて連絡。

出村会員から深宇宙データセンター構想について説明がなされた。学術会議「大型研究計画マスタープラン」改訂作業に昨年度提案した、月惑星探査のデータアーカイブなどを国内の複数研究機関間で分担して行う構想。ヒアリング時に、日本の学術全般で、データアーカイブセンターに相当する部分が諸外国に對して薄すぎ、分野横断で何とかしなければならず、推したいとのコメントがあった。詳細はメールに流す。

20. その他

平田総務委員長より、第35回総会の議長として和田会員、書記として石原会員が推薦され、了承された。

報告：

1. 学会サーバ更新について

千秋情報化専門委員長より、昨年度の更新について報告があった。

近々アップデートを行なう。会議システムを運営するための設定の仕方が変わる。一時期不安定になるかもしれない。今から始めて秋季講演会の申し込み始まる6月20日までに事態を収拾させる予定。一般から見てサーバーが変わるのは6月15日を予定。詳細はOmlで報告。

2. 各種賞候補者推薦のお願い

平田総務委員長より、各種学会賞の説明と候補推薦のお願いがあった。

育志賞、学振賞、は書類が大変なので、あらかじめ準備が必要である。

地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「奨励賞」の締め切りは8月31日。惑星科学会内での申し込み時は簡易書類とし、1人に選定してから資料をそろえろとよいという意見が出た。

3. 入退会状況について

平田総務専門委員長より入退会状況について報告がなされた。

会員数は600人、賛助会員は5社、購読会員・法人数8。

4. 遊星人の発行状況

はしもと編集専門委員会委員長より遊星人の発行状況について説明があった。例年通り順調に発行が進んでいる。

5. 国際会議ACM2011(日本惑星科学会後援)の延期について

佐々木委員より、日本惑星科学会後援Asteroids, Comets, Meteors 2011は震災の影響で来年の5月に延期した旨報告がなされた。

◇日本惑星科学会第35回総会議事録

日 時：5月24日(火)12:30-13:30

場 所：日本地球惑星科学連合2011年大会会場103号室

千葉県千葉市美浜区中瀬2-1幕張メッセ国際会議場

正会員：600

定足数：60

参加人数：66

委任状：111通(議長：108、林祥介会員1、中村昭子会員1、町田正博会員1)

1. 開会宣言

平田総務専門委員長が開会を宣言。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に和田浩二会員、書記に石原吉明会員が選出された。

3. 議事

3.1. 第10期下期(2010年度)活動報告

・基調報告

井田前会長から第10期下期の活動報告がなされた。

・会計報告

中本前財務専門委員長から2010年度決算報告がなされた。

一般会計

予定通り執行した。(一般の方から10万円の寄付があった。)

会員より、決算報告書に関して、当期未収分が何かと言う質問があった。→想定する滞納者分である。

特別会計

予定通り、一般会計から20万円計上した。

・会計監査報告

高木会計監査監事より、監査の結果収支決算に誤りのないことを確認した。

サーバー更新に関しては、長期計画を立てて長期引当金をしていく等の手だてをする必要があるのではという報告があった。

- ・サーバー移行に関する報告

荒川前情報化委員長よりサーバー移行に関する報告があった。12月12日に移行完了。サーバーの故障に対する対処として、サーバー本体は、「桜インターネット」のレンタルサーバを利用。サーバー本体は大阪に設置されており、地震の影響は受けずにすんだ。

- ・2010年度最優秀研究者賞受賞者発表

佐々木晶選考委員より、小林浩会員、諸田智克会員に決定された事が報告された。1次・2次選考を経て決定。運営委員会にて了承された。

- ・採択

第10期下期活動報告の採択が行われ、賛成177(うち出席者：66)により採択された。

3.2. 第11期上期(2011年度)活動方針

- ・基本方針

渡邊会長より事業概要・活動計画について説明がなされた。その骨子は—(1)議案書にある事項(日常)だけではなく、非日常即ち学会を取り巻く危機的な状況に対応しなければならない。(2)SGEPSSや天文学会の領域まで含めた「宇宙惑星科学」というコミュニティを基盤にして、若手を育成し、新しいタイプの中核研究所を設置し、探査を支える研究教育生態系を培っていく必要がある。(3)信頼関係を醸成し、長期ビジョンを共有し、若いエネルギーに満ちた白熱学会にしていきたい。—であった。

- ・財務専門委員会活動方針

荒井財務専門委員長より現状について説明があった。本年度も個人から5万円の寄付があった。会費免除の対象者が多いと思われるので、忘れないように早めの申請を。

- ・情報化専門委員会活動方針

千秋情報化専門委員長より新サーバーの不具合や機能追加のリクエストを上げていただけるよう協力の依頼があった。

- ・採択

第11期上期活動方針の採択が行われ、賛成177(うち出席者：66)により採択された。

4. 報告事項

4.1. 2011年秋季講演会について

宇宙研LOC小林会員より秋季講演会の説明がなされた。10月23日(日)より相模女子大を会場に開催される。詳細は遊星人6月号にて。

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

◇日本惑星科学会第91回運営委員会議事録

期 間：2011年7月12日(火)～7月19日(火)

議 題：2012年連合大会惑星科学セッションコンビーナの承認

運営委員会委員：

出席者(23名)渡邊誠一郎、井田茂、田近英一、

倉本圭、荒川政彦、永原裕子、林祥介、渡部潤一、中村昭子、橘省吾、中本泰史、中村良介、並木則行、

三河内岳, 小久保英一郎, 平田成, 千秋博紀, 荒井朋子, 城野信一, 高橋幸弘, 小林直樹, 佐々木晶,
はしもとじょーじ

(欠席者)なし

成立条件: 期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす

議決方法: 上記期間内にe-mailにより投票

議 題: 2012年連合大会惑星科学セッションコンビーナの承認をお願いしたい.

惑星科学セッションコンビーナ

木村淳

鈴木絢子

議題は全会一致で承認された. 賛成: 23, 反対: 0

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2011年6月25日までに, 賛助会員として本学会に御協力下さった団体は以下の通りです. 社名等を掲載し,
敬意と感謝の意を表します. (五十音順)

アメテック株式会社カメラ事業部

シャープ株式会社

有限会社テラパブ

株式会社ニュートンプレス

(財)リモート・センシング技術センター

◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

2011/10

23-25 日本惑星科学会2011年秋季講演会

(a) 相模女子大学翠葉会館 (b) 日本惑星科学会

(c) https://www.wakusei.jp/meetings/fall_meeting/2011/

2011/11

9-11 第52回高压討論会

(a) 沖縄キリスト教学院 (b) 日本高圧力学会(日本惑星科学会協賛)

(c) <http://www.highpressure.jp/forum/52/>